

あなたにとって、良いものだけを…
この想いが、ニュー スキンの原点。



1984年、 1本のスプーンが始まりでした。

「なぜ、人の肌に良い成分だけでつくられた製品がないのかしら？」

この素朴な疑問が、ニュー スキン誕生のきっかけでした。創業者のブレイク M.ローニーは、研究を重ねて肌にやさしい成分だけを選び抜き、ついに製品を完成させました。

製品は評判を呼び、人々は自分で入れ物を持ち寄り、1本のスプーンで分け合いました。

「あなたにとって良いものだけを…」1本のスプーンが広めたこの想いから、今日に続くニュー スキンの歩みが始まりました。

現在、

変わらぬ想いから生まれた製品は、
世界53の国と地域の人々が手にしています。

ニュー スキンでは現在、社内の専属科学者と世界トップレベルの研究機関が
共同で、最先端の研究に取り組み、製品を開発。

1本のスプーンに込められた想いと、サイエンスの革新から生まれた製品は、
現在350種類を超え、世界の人々へと広がっています。



そして未来へ、

「今日も、未来も美しくありたい」

その願いに答えて、ニュー スキンの革新は続きます。

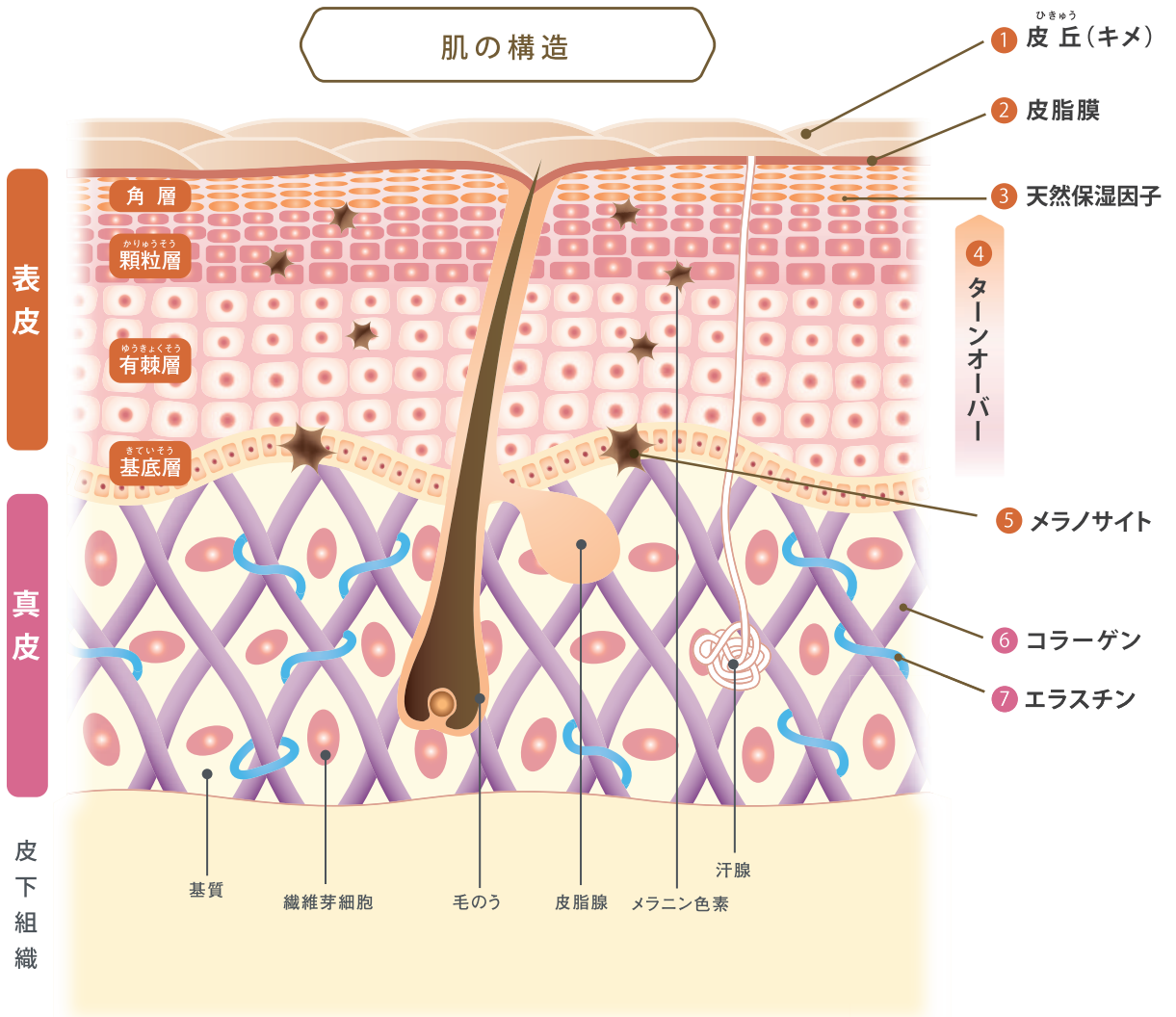
一人ひとりがもつ肌本来の美しさを引き出すために、
ニュー スキンの製品は、変わらぬ想いを大切にしながら、
パーソナルケアの未来を先取りしています。製品や使い方などについて、
正しい知識を身につけることで、ニュー スキンの素晴らしさを感じられます。

一緒に肌とパーソナルケアについて、学んでいきましょう。

肌のしくみを学びましょう。

肌の美しさを育むには、肌のしくみを知ることが大切。

皮膚は表皮、真皮、皮下組織に分かれています。それぞれのしくみと役割を学びましょう。



表皮は肌の一番外側にあり、角層(角質層)、顆粒層、有棘層、基底層に分かれています。

角層 (約0.02ミリ)

表皮の一番上にあるのが角層。ほこりや菌などの外的刺激が体内に入るのを防ぎ、肌内部の水分が外へ蒸発するのを防ぐ働きもあります。

角層の水分保持力

みずみずしい肌は角層に約10~20%の水分を含んでいます。角層の水分保持力が、肌の美しさの鍵を握っています。

かりゅうそう

顆粒層

平べったい顆粒細胞でできた層。角層とともに外的刺激から肌を守り、紫外線が肌の奥に届くのを防ぐ働きもあります。

ゆうきよくそう

有棘層

表皮の中でも最も厚い層で、細胞に栄養を届ける役割を担っています。

きていそう

基底層

表皮の中でいちばん下にあります。基底細胞とメラノサイトが並び、新しい表皮細胞は常に基底層から生まれます。

かりゅうそう ゆうきよくそう

① 皮丘 (キメ)



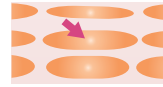
肌の表面の溝に囲まれた三角形の丘は皮丘と呼ばれ、ここが整っていることを、一般的にはキメが整っていると言います。

② 皮脂膜



皮脂線からでた皮脂と、汗腺からでた汗が混じってできた天然のクリームで、肌のうるおいを守ります。

③ 天然保湿因子



角層には天然保湿因子(Natural Moisturizing Factor)が存在し、水分を保持する働きがあります。肌のうるおいを保つには、天然保湿因子が健やかに働くことが大切です。

④ ターンオーバー

肌は基底層で肌細胞として生まれ、約28日間をかけて角層細胞に変化し、最後はアカとなってはがれ落ちます。このサイクルをターンオーバーといい、くすみのない明るい肌を保つには、スムーズなターンオーバーが大切です。

⑤ メラノサイト



メラニン色素をつくり出す細胞です。

真皮は表皮の内側にあり、肌の大部分を占めています。

⑥ コラーゲン



真皮の大部分を占め、網目のようなネットワークをつくり、肌の弾力を維持します。弱くなると、たるみやシワの原因となります。

⑦ エラスチン



真皮にあってコラーゲンと共に肌の弾力を保つ繊維。弱くなると、たるみやシワの原因となります。

健康な肌は、どこが違うのでしょうか？

うるおい、透明感、ハリのある健康な肌。シワ、くすみ、シミ、たるみなどが気になる老化した肌。

その違いは、加齢によるものだけではありません。

紫外線や乾燥、生活習慣の乱れ、そして毎日のスキンケアも、肌の年齢を左右する要因です。



健康な肌は

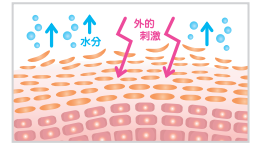


老化した肌は

表皮の角層

角層の水分保持力が正常で、肌うるおいがある。

角層の水分保持力が弱まり、肌が乾燥している。

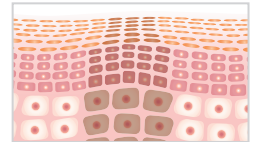


水分保持力が弱まると、水分が蒸発しやすくなる

表皮の全体

表皮のターンオーバーが活発に行われ、新しい肌へスムーズに生まれ変わっている。そのため角層がきれいに整っておりメラニン色素が沈着することなく、肌の表面へ押し出されている。

表皮のターンオーバーの周期が長くなることで角層が厚くなったり、表皮にメラニン色素が残るため、くすみやシミができやすくなっている。

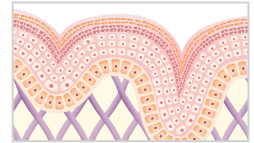


メラニン色素が表皮に沈着

真皮の全体

真皮にあるコラーゲンと、それを支えているエラスチンが健康な状態にあり、肌のハリ・弾力が保たれている。

真皮にあるコラーゲンと、それを支えているエラスチンが弾力を失い、肌たるみやシワが生まれている。



コラーゲンとエラスチンをつくる構造がもろくなり、溝が生まれる

健やかで美しい肌を保つために、 ニュー スキンにできることがあります。

肌には自ら美しくなるようとする力が備わっています。

「あなたにとって良いものだけを…」の想いに貫かれたニュー スキンのフェイス ケア製品は、

シンプルなステップ「CTH理論」に基づくスキンケアで、肌本来がもつ働きを引き出し、

健やかで美しい肌を保つことをお手伝いします。

さらに最先端のテクノロジーに着目して生まれた特別なケアが、

美しく年齢を重ねる理想の肌へのアプローチをサポートします。

ニュー スキンの
シンプルSTEP

洗う

Cleanse

整える

Tone

補う

Hydrate



ニュースキンのフェイスケア

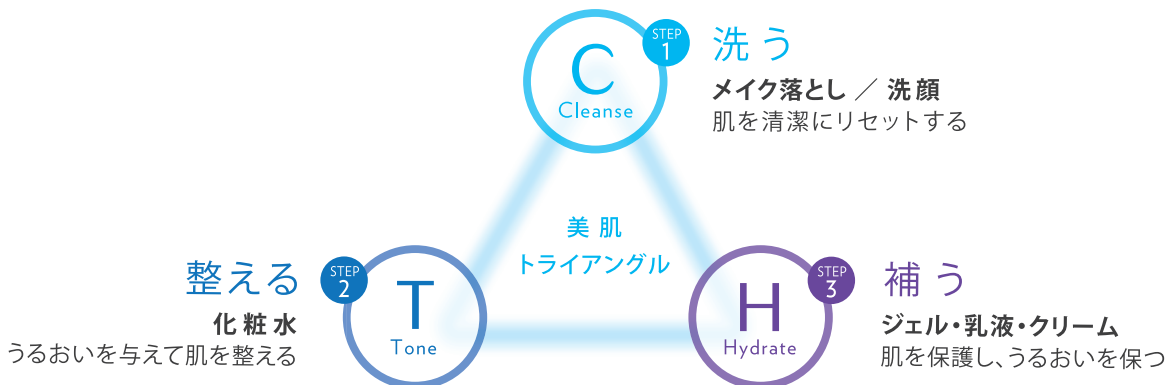
肌本来の美しさを引き出す



CTH理論とは

美しい肌は、「洗う」「整える」「補う」という3つの要素によってつくられる…
それが、ニュースキンのフェイスケアの考え方「CTH*理論」です。
肌が自ら美しくなる力を最大限に引き出すアイテムを選び、正しく使い続けること。
理想の肌は、シンプルなステップで手に入るのです。

* CTHとは「**C**leanse(洗う)」「**T**one(整える)」「**H**ydrate(補う)」の頭文字からきています。



CTH理論で肌本来の美しさを引き出す、
ニュースキンのフェイスケア。
毎日の基本のお手入れに、スペシャルケアを加えた
シンプルなステップで、理想の肌をめざします。



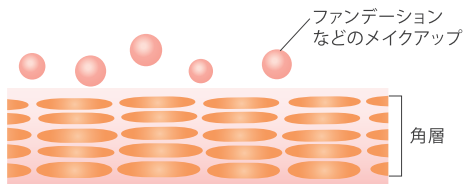
フェイスケアの役割を知りましょう。

効果的なフェイスケアを学ぶには、各ステップの役割を知ることが大切です。



洗う | メイク落とし

メイクアップを浮かせて落とします

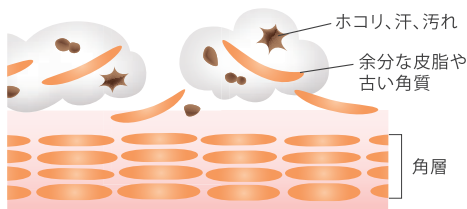


メイクアップを しっかり落とすために。

メイク落としには、メイクアップを落とす役割があります。メイクアップを落とさないでいると、ホコリや汗と混ざって肌トラブルの原因に。落とし残しがあると油分が酸化して、肌老化も引き起こします。

洗う | 洗顔

洗顔料で落とします

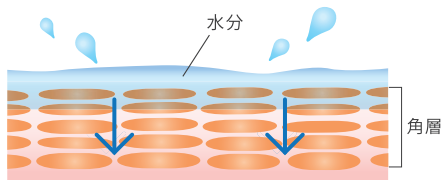


肌を清潔にするために。

洗顔は、余分な皮脂、古い角質、ホコリ、汗、雑菌などを落とす役割があります。肌に必要なものは守りながら、洗顔料で汚れを落とし、その後のフェイスケア効果も高めます。

整える | 化粧水

洗顔後の肌に水分を与えます

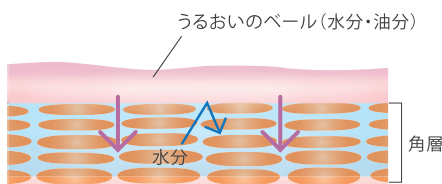


肌のうるおいバランスを 整えるために。

化粧水には、洗顔後の肌に水分を補うとともに、pHバランスを戻しキメを整える役割があります。また水分を補うことで、後に使う美容液やクリームなどをなじみやすくします。

補う | ジェル・乳液・クリーム

肌に水分を閉じ込め、うるおいをキープします



肌のうるおいを 保つために。

ジェル・乳液・クリームには、化粧水で補った水分を肌に閉じ込める役割があります。うるおいのベールで肌を覆うことで、水分が逃げるのを防ぎながら、肌に水分と油分をバランスよく届けます。

洗う | メイク落とし

Cleanse

メイクアップを落としましょう。



使用製品

ニュー スキン
クレンジング オイル



使用量の目安

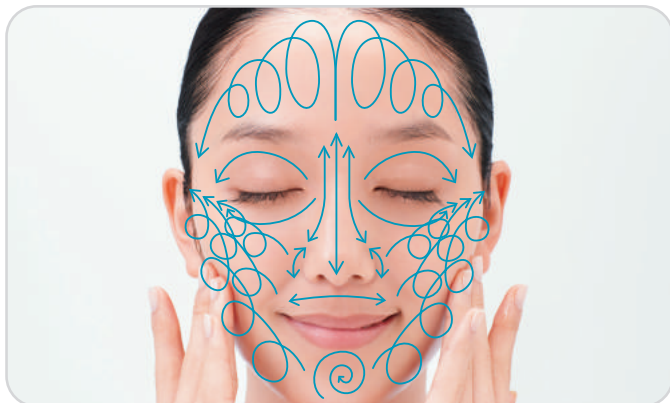
4プッシュ分

- まずポイントメイクから落としましょう。ポイントメイク落とし用のコットンを両手に1枚ずつ持ち、まぶたにのせ、アイメイクをやさしく拭き取ります。リップメイクは、目元で使ったコットンを裏返して落とします。



❗ クレンジング オイルが目に入らないように注意しましょう。

- 次に手のひらに取ったクレンジング オイルを顔全体に均一に広げます。そして指の腹を使って矢印の方向へ、小さならせんを描きながらファンデーションとなじませます。



❗ 指先の感覚が軽くなったら、メイクが浮いてきたサイン。必ずこのサインを感じるまでなじませます。

- 水かぬるま湯でていねいに洗い流しましょう。

はじめに



ポイントメイク落とし用
コットンをつくる



- (1) コットンを2枚取り、中間部分を人差し指と中指ではさみます。
- (2) クレンジング オイルを3プッシュ含ませ、その上からモイスチャー ミストを3プッシュ吹きかけます。

Point

クレンジング オイルは、手も顔も、乾いた状態で使いましょう。

詳しくは動画でマスターしましょう!





洗う 洗顔

汚れを残さず洗いましょう。

使用製品

ニュースキンフェイス
クレンジングフォーム



使用量の目安

2プッシュ分



- 1 手を洗い、顔をぬらした後、クレンジングフォームを両手に広げます。



Point

泡を両手に広げるときに、泡をつぶさないように注意しましょう。

- 2 顔全体に泡を広げ、中心から外側に向かってやさしく円を描くように洗います。



Point

泡のすすぎ残しやすいゾーンはここ!



髪の生え際
耳の周り
フェイスライン

- 3 きちんと顔全体を洗ったら、水かぬるま湯でやさしく洗い流しましょう。

詳しくは動画でマスターしましょう!



T
Tone

整える 化粧水

十分なうるおいを届けましょう。



使用製品
ニュー スキン
Q10 スキン ローション



使用量の目安
コットンを2枚重ねて、両端に
指一本分を残した点線部分が
ヒタヒタになる量

1 コットンを2枚重ねたまま、人差し指と小指ではさみます。



2 矢印の方向へ、化粧水をひたしたコットンを滑らせます。
コットンの表面の状態に合わせて、途中で裏返して
使います。



① 羽根で顔の表面をなでるイメージで、コットンを滑らせます。

3 コットンの化粧水を十分に肌へ移してゆきましょう。
最後に手のひらで顔全体を包み込むようにしてなじ
ませましょう。

はじめに

化粧水用の
コットンをつくる



使用量の目安を守って化
粧水を含ませた後、2枚重
ねたコットンを指で軽く揉
み、裏側までしみ込んでい
ることを確認しましょう。

Point

乾燥が気になる部分には、
コットンを肌にやさしく押し
あてながら、化粧水を重ねづ
けします。

詳しくは動画でマスターしましょう!





補う ジェル・乳液・クリーム

効果的にうるおいを保ちましょう。

使用製品



ニュー スキン
リジューベネイティング
クリーム

使用量の目安



大きめパール粒大

- 1 手の甲にクリームをとり、顔の5カ所に分けてのせ、頬のクリームを頬全体に広げます。



Point

クリームを5カ所にのせることで、顔全体に均一に伸ばしやすくし、塗り残しを防ぎます。

- 2 クリームを矢印の方向へ、やさしくなじませていきます。



Point

メイクアップ前は余分な油分をオフ!

クリームをつけすぎた場合やメイクアップ前はティッシュで軽く押さえ、余分な油分を取りましょう。

- 3 顔全体に伸ばしたら、手のひらで顔全体を包み込むように押さえてなじませましょう。乾燥が気になる部分にはクリームを重ねづけします。

詳しくは動画でマスターしましょう!

